

やまのうち通信



第 160 号

令和 2 年 8 月 20 日

山内自治振興センター

庄原市山内町 813-4

TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

自らも楽しみ人々にも喜びを与える

大切な人生をこうした心構えで送りたい

—松下幸之助—

山内地区原爆犠牲者慰霊祭



恒例の山内地区原爆犠牲者慰霊祭が 8 月 6 日(木)午前 11 時から、山内原爆慰霊碑前において行われました。今年の慰霊祭は朝から晴天で大変暑い日となりました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓の方や一般の参拝者の方には参加を自粛していただき、ご遺族の方と最小限の地元関係者のみの 24 名で慰霊祭を行いました。参加者には参加者名簿を記帳していただき、マスクの着用、手のアルコール消毒、検温、三密を避ける対策などをお願いし、感染防止対策に努めました。

円通寺のご住職様の読経の中、実行委員長の三橋豊社協会長が追悼の言葉を述べ、広島市長のメッセージが代読されました。続いて、出席者全員がご遺族を先頭に順次焼香をし、山内臨時病棟で亡くなられた 88 名の方の慰霊を行いました。

また、山内小学校・山内保育所・山内放課後子ども教室・行里サロン・グループホームたまの家・岡本なでしこ会・相扶園・板橋放課後児童クラブ・鳥井さまから千羽鶴が供えられました。



↑ 原爆犠牲者慰霊祭の様子
← お供えていただいた千羽鶴

みなさんはケアマネジャーという職種をご存知ですか？みなさんから、「ケアマネ」や「ケアマネさん」と呼ばれることもあります。ケアマネジャーは、介護サービスを受ける人やご家族から、相談をお受けして、介護方針やサービスの内容・費用などの計画作成を担当します。介護保険では「介護支援専門員」が正式な名称です。

私は、3年前に資格を取り、4月から尾引町にある相扶園でこの仕事をしています。元々は保健師の経験があり、地域に出向く仕事を行ってきました。保健師もケアマネジャーも地域に出て、人と人をつなぐ仕事という面では共通する点が多くあると感じています。

ケアマネジャーは、居宅介護支援事業所（在宅介護を必要とする方のケアプラン作成や支援を行う事務所）などで働く「居宅のケアマネジャー」と、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などで働く「施設のケアマネジャー」等にわかれます。

「居宅のケアマネジャー」は自宅で暮らす利用者のお宅で介護や生活支援を行う訪問介護や日帰りで介護を受ける通所介護の紹介や調整などを行います。

「施設のケアマネジャー」はご入所者や家族からの相談やケアプランの作成などを担当します。ケアマネジャーは介護保険を中心にいろいろな事業所に配置されています。

先日、利用者さんから「相談は（電子）メールではできないの？」と聞かれました。この方は病気の後遺症で話すのが難しく、半身麻痺のある方で、電話で言うことも、FAXで送るのも手間がかかり難しいとのことでした。

多くの方に利用されるようになった介護保険ですが、相談の方法一つとっても体の状況や環境によって、利用されている方が不便を感じることも、たくさんあることにあらためて気づかされました。

私は、在宅で生活されている人を担当させていただいていますが、ご利用者の声をよく聞き、細やかに心配りをしながら、住み慣れた地域で安心した暮らしをお手伝いできるケアマネジャーでありたいと思います。



みなさんの身近な介護関係事業所のケアマネジャーをお気軽にご利用されてはいかがでしょうか。

相扶の郷居宅介護支援事業所 ケアマネジャー（保健師） 奥田真夕子

随時、地域のみなさんからの写真投稿を募集しています！

投稿希望の方は、写真データを振興区事務局までお持ちいただくか、自治振興区メールアドレス(yamanouchi_jichi@gmail.com)へお送りください。よろしくお願いたします。



「アダプト活動報告！」

●地域の環境整備（年4回）を行っています
8月に草刈りを行いました。



↑ 8月2日午前8時から水越町県道「平和金田線」の草刈りを行いました。



↑ 8月1日午前6時から国道183号線沿いの小学校通学路の歩道の草刈りを行いました。

おたがいさまネット



今年の夏は新型コロナウイルスの感染が治まらず、これまで経験したことがない日々が続いています。首都圏や関西圏からの帰省はもとより、県をまたぐ移動の自粛が叫ばれて、例年のような帰省ラッシュも観られませんでした。観光業・飲食業は大変な打撃をこうむっています。また私たちの日常では、感染予防のための「新しい生活様式」が提唱されて、「3密」を避け、マスクの着用や手洗い・消毒の徹底などが当たり前の生活行動になりました。このウイルスの厄介なところは、「人が移動し、集まる」ことを利用して感染を続けることです。人間の基本的な生活行動に対する感染防止のための制約は、私たちの日常を大きく様変わりさせました。

こうした中で危惧されることのひとつに高齢者の孤立や健康の維持があります。サロンなどの機会が減り、離れて暮らす家族とも会えず、外出を控える方が多いと聞きます。感染を警戒して家に閉じこもり「会話不足」「運動不足」に陥ることは心身の健康を保つ上で避けなければなりません。その意味でも

「おたがいさまネット」で取り組んでいる「一人暮らし高齢者等の見守り」は、このコロナ禍の中で更に重要な取り組みになっています。住民同士が声を掛け合い、お互いの安否を確かめましょう。また感染予防に努めながらサロンやシルバー・リハビリ体操など集まりの機会を持ち、「新しい日常」を作っていきましょう。

地域マネージャー 三上智道



男性料理教室

8月6日(木)5名参加

- ・鰻のカレームニエル
- ・夏野菜と切干大根ナムル
- ・野菜とささみ肉のスープ



美味しくできました♪



おくりもの

7/14~8/7

◆香典返し

- 尾引町 正長政文様 (故 ハマ子様)
- 山内町 金藤宏明様 (故 嘉宏様)
- 平和町 大津広通様 (故 滝口馨様)

◆見舞い返し

- 尾引町 正長政文様 (故 ハマ子様)

ご芳志ありがとうございました。

ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会



9月



- 8日 ふれあい給食
 - 16日 健康寿命向上セミナー「運動講座」
 - 20日 自治会長会
 - 29日 ふれあい給食
- ※新型コロナウイルス感染防止の為、中止となることがあります。

一人ひとりが「基本的な感染防止対策」をしましょう！



換気しよう



消毒しよう



マスクをしよう



できるだけ2メートル離れ
ましょう



大声はやめましょ

定住促進プロジェクト（空き家活用）だより

7月に入り空き家の物品整理支援要請を受け 21・25・26 日の3日間、空き家持ち主様と入居家の皆様と共に、「てごおし隊」延べ 15 名出動させていただきました。主な作業は両者の不用必要のマッチングにより搬出希望の物品を山内リサイクルマーケット用と廃棄処分に分別、搬出補助でした。

休憩の合間には、てごおし隊メンバーの保護者の小学生の子どもさんが写真パネルを使い新規入居家族の皆様に地域の歴史を語ってくださり、80代の空き家持ち主様も昔の状況を伝えてくださるなど、一同なごやかな時間を過ごすことができました。

お陰様で「てごおし隊のメンバー」も 72 名となり、学生さんや多種多様な技術をお持ちの方々、主婦の方々など細やかな気配りをいただき大変心強く思っています。



↑ 写真パネルを使い新規入居家族の方に地域の歴史を語る様子



↑ 分別作業の様子

さてこれからの活動といたしまして、このご時世、近場で遊ぶ山内の魅力を再発見『ねきの野山がおもしろい!!』と題し川遊びや昆虫探し・野山探検・野草茶作り・いなごを探して食べるなどなど、引っ越して来られる子どもさんと地元の子どもの間、皆様の架け橋となるような企画を考えております。その際はぜひご参加ください。これからも地域の皆さま方のご支援ご協力を何卒よろしくお願いたします。

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実



表水越自治会「サロン水越」が発足しました!

コロナ禍の中、7月18日(土)水越公民館において、サロン水越が発足しました。年度当初から計画していましたが、コロナの影響で延び延びになっていました。

このサロンは山内自治振興区内では18番目のサロンとなります。

12名の住民が水越公民館に集まり、シルバーリハビリ体操を行い、体操の後に市社協稲里さんのお話を聞きながらサロン活動を行いました。

「山内地区敬老会のお知らせ」

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、敬老会は中止となりますが、敬老者の方全員に記念品を贈呈し敬老を祝したいと思います。

また、例年のように喜寿・米寿・金婚・三世同居家族の方には別の記念品を贈ります。

今年度の金婚者は昭和46年に結婚された方が対象です。なお昭和46年以前に結婚されたご夫婦で、金婚の申告をまだしていない婚姻夫婦の方も対象となりますので、自己申告していただきますようお願いいたします。

